

第3章

景観形成の基本理念と基本目標

良好な景観形成を推進する意義をとらえ、佐倉らしい景観を育み、次世代に引き継いでいくため、1. 景観形成の基本理念と2. 基本目標を掲げています

1. 景観形成の基本理念	45
1) 景観形成推進の意義	
2) 景観形成の基本理念	
2. 景観形成の基本目標	46

1. 景観形成の基本理念

1) 景観形成推進の意義

良好な景観形成の推進は、心地よい生活環境の形成や地域への愛着や誇りの醸成、固有の魅力をもった産業や観光・交流の振興による地域の活力の向上などにつながります。

2) 景観形成の基本理念

下総台地と印旛沼や湧水などの自然環境を背景として、古代から育まれてきた人々の暮らしや営み、中世以降に形成された城下町や宿場などの歴史・文化資産、戦後の高度経済成長期以降の開発などにより利便性の高い市街地が整備されたことにより、自然・田園と都市が近接するなかで、佐倉市固有の様々な魅力を備えた景観が形成されてきました。

このように歴史・自然・文化が人々の暮らしや営みとともに融合した景観を佐倉らしい景観と捉え、心地よい生活環境を形成し、佐倉にいつまでも住み続けたいという思いや、まちへの愛着につながっているものと考えています。

本計画では、かけがえのない佐倉らしい景観を、市民・事業者・行政のそれぞれが景観形成の担い手として育みながら、次世代に大切に引き継いでいくために、基本理念を次のとおりとします。

歴史・自然・文化をつなぐ

みんなで育む 佐倉らしい景観

2. 景観形成の基本目標

第2章の佐倉らしさを感じさせる景観や景観形成の基本理念を踏まえ、景観形成の基本目標を次のとおりとします。

○地域のまとまりを形づくり、営農や居住環境を支えている自然・田園風景を継承する

- ・地域をふちどる斜面緑地の保全を図ります。
- ・低地に広がる水田や台地上の畑地、谷津の環境などを「ふるさとの風景」として大切にします。
- ・佐倉の自然・田園風景を代表する印旛沼周辺において、佐倉ふるさと広場や佐倉草ぶえの丘、印旛沼サンセットヒルズなど、市民が利用する施設が集積するエリアを中心に、重点的な景観形成に取り組みます。

○時代の積み重ねを感じさせる歴史的な資源を活かす

- ・城跡や遺跡、歴史的建造物などを活かし、まちの歴史的な風土の保全・継承を図ります。
- ・「歴史のまち佐倉」を代表する佐倉城跡や旧城下町周辺において、重点的な景観形成に取り組みます。

○市街地・集落地の特性に応じ、秩序や品格が感じられる景観を形成する

- ・住宅地や集落地では、界隈ごとの個性を活かし、居心地が良く、住み続けたいくなる景観の維持・育成を図ります。
- ・商業地や工業地などの土地利用特性に応じて、良好な市街地景観の維持・育成を図ります。
- ・商業地・工業地と住宅地が接する区域や、建物の用途・形態が混在している区域では、オープンスペースや緑地による緩衝帯を確保することで、相互の環境を維持し、それぞれの特性に応じた景観形成を図ります。

○地域で親しまれている景観資源を活かし、豊かさが感じられる地域景観を形成する

- ・魅力的な眺めや場所、湧水、地域で親しまれている巨木や古木などの景観資源を再発見・共有し、景観の保全活用を図ります。
- ・祭礼などの地域の伝統行事や花の名所など、心象的な景観を共有し、大切にします。
- ・景観資源を活用し、地域内や地域間の回遊ネットワークを形成します。

○景観への意識を育む

- ・市民や来訪者が佐倉の景観の成り立ちや良さを知り、体感できる機会を増やすなど、景観への意識を育む取組みを進めます。
- ・地域における市民・事業者などの景観形成の取組みを育成・支援します。